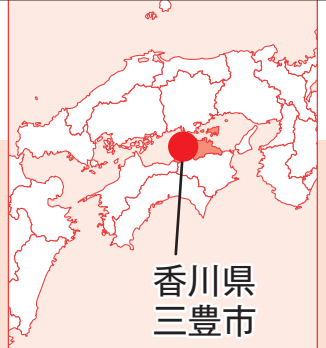


贈呈理由

循環加温ヒートポンプ給湯機と温水ボイラを併用したハイブリッドシステムの導入により、大幅な省CO₂、省コストを実現



香川県
三豊市

三豊市 道の駅ふれあいパークみの



ヒートポンプ給湯



道の駅ふれあいパークみの



空冷ヒートポンプチャラー

さまざまな旅の目的に対応した絶景の中の温浴宿泊施設

天然いやだに温泉「大師の湯」は、四国八十八ヶ所のひとつである四国霊場第71番札所「弥谷寺」のふもとに位置する宿泊施設・天然温泉・温水プール・レストラン・イベントホール・アスレチックランド・RVパークなどが併設された「道の駅ふれあいパークみの」の中にあり、ビジネス・個人旅行・団体旅行の他、お遍路旅や車中泊にも対応した温浴宿泊施設である。

弥谷山の深い緑に包まれた癒しの天然温泉は、どの湯船からも絶えずお湯があふれ出ており、女性の露天風呂からは三豊平野や讃岐山脈を見渡すことができる。

給湯設備のリニューアルで、ハイブリッドシステムを選択

三豊市は、2007年度以降に「三豊市エコオフィス計画」を策定し、「エネルギーを有効利用する地球にやさしいまち（低炭素社会の構築）」を目指して積極的に設備更新を実施してきた。三豊市庁舎では水蓄熱空調システムのリニューアルやクラウドBEMSを活用したコミショニングによる運用改善により、大幅な省エネルギー・省CO₂削減を達成するなど、従来からハード・ソフトの両面で環境負荷の低減に努めている。

今回、温浴施設の給湯設備の老朽化にともなうリニューアルにあたっては、省エネルギー・省CO₂を考慮して検討

を重ねた結果、循環加温ヒートポンプ給湯機と高効率温水ボイラによるハイブリッドシステムを導入することになった。

給湯設備は温泉施設だけでなく温水プールの加温にも利用しており、ハイブリッドシステムを採用することでより効率的に設備を運用できるだけでなく、万が一の故障にも対応できるようにしている。

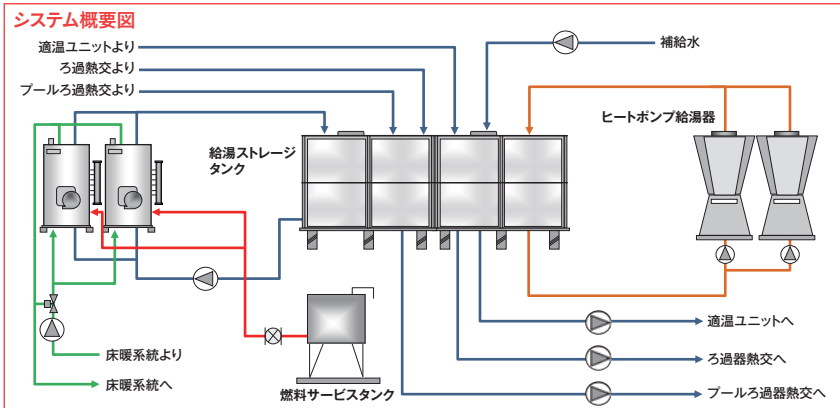
また、設備導入後も使用状況に応じて循環加温ヒートポンプの吐出温度を最適化するなど運用改善努力を続けており、今後もさらなる省エネルギー・省CO₂の実現により、環境負荷の低減とランニングコストの低減に努めていく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	温水ボイラ 一次エネルギー消費量:20,356.5GJ
採用システム	循環加温ヒートポンプ給湯機+温水ボイラ 一次エネルギー消費量:19,555GJ



(諸元)実測結果に基づく年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(昼間) 9.97 MJ/kWh ※電気(夜間) 9.28 MJ/kWh
※A重油39.1 MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」



道の駅ふれあいパークみの

所在地:香川県三豊市三野町大見乙74
URL:https://www.park-mino.info/

■設備概要
業務用ヒートポンプ給湯機
70kW×2台[東芝キャリア]

